



宇都宮市で採れる大谷石は淡い白色の表面に黄金色の斑点をもつ、素朴で温かみのある石材だ。今から約90年前、旧帝国ホテルに採用され脚光を浴びたものの、特長を発信する力が弱く低迷していた。その状況打破へ先頭に立つのが大谷石産業(宇都宮市)の営業部長兼

# 大谷石の魅力 伝道

大谷石産業  
営業部長兼広報部長  
飯村 淳氏



いいむら・じゅん 1984年慶大理  
工卒、ソニー入社。97年に地元の栃  
木県に帰郷。ホテル経営などを経て、  
2011年から現職。51歳

広報部長の飯村淳氏だ。異業種で培った客観的な目線で大谷石の魅力の伝道者として奔走する。「大谷石は世界中どこを探してもここにしかない石材です」。柔らかくぬくもりのある風合いにひかれ、内装に大谷石を  
活用する住宅や飲食店が。小脇に抱え営業先に栃木県内外で増えている。国内にとどまらず、ファイナルだ。大谷石の耐久力や加工のしやすさなどの特徴に加え、マイナスイオンによる癒やし効果や音響効果などのデータも充実している。説得力をもった営業が奏功

## 異業種出身、発信力磨く

し、受注件数は3年で倍増した。大谷石はその良さを発信し切れていなかった。そう語る飯村氏は「元は全くの異業種出身だ。元はソニーのエンジニアとしてICの設計にいた。13年勤めた後に帰郷。不動産経営などを経て、2011年に大谷石産業の営業部長に就いた。宇都宮でしか採掘されないユニークさに将来性を見いだした。昨年から採掘場の跡地を生かして、東京圏からの観光客誘客に力を入れた。道の駅などを運営するファーマーズ・フォレスト(宇都宮支局 安倍大賢)に協力し、大谷石製コースターの絵付け体験、資料館見学などに加え、地元ユズやネギを使った観光客向けのランチを開発した。大谷地区を観光地としてアピールする。市内には大谷石を使った文化財が数多く残る。その修復に携わる職人の高齢化が課題だ。4月か

北  
関  
東

支局 水戸 0229-2221-3283  
つくば 0229-8522-0345  
宇都宮 0228-6222-1174  
前橋 0277-2223-3115